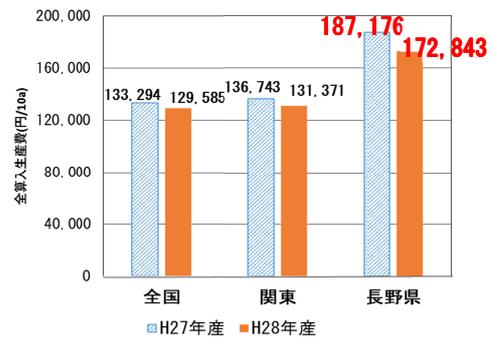


はじめに

～積極的に省力・低コスト技術を検討・導入しましょう！～

平成 30 年度以降の米政策の見直しにより、ますます産地間の競争が激しくなることが予想され、更なる経営の効率化が求められています。

長野県の農地は傾斜地が多く、1 筆あたりの面積も小さいため、作業の効率化が難しい状況にあります。長野県の 10a あたりの生産コスト（全算入生産費※）は全国や関東地方と比較して割高で、平成 28 年は 172,843 円、玄米 600kg 収穫した場合の 1 kg あたり原価は 288 円となります（図 1）。1 俵 15,000 円（250 円/kg）で販売した場合、38 円/kg の赤字となってしまいます。



もちろん、生産規模の大きな経営体の中には、経営の効率化に取り組み、原価 200 円/kg 以下を達成し、より多くの所得をあげている経営体も見られますが（表 1）、今後、多くの農家の皆さんが持続的かつ発展的な経営を行い、地域の農地を維持する役割を担っていただくため、今回、省力・低コスト技術のカタログを作成しました。

今回紹介している技術は、長野県農業試験場で開発された技術や現地で実証された技術を中心に掲載しており、今後も新しい技術が開発され次第、更新を行ってまいります。

カタログの中から、ご自身の経営に合った技術を見つけ出してみてください。気になる技術があった場合は、お近くの農業改良普及センターやJAにご相談をお願いします。

※全算入生産費：自己資本利子や自作地代まで全額含めた生産費

表 1 全算入生産費（原価）を低減した場合の所得のシミュレーション

全算入生産費 (円/10a)	収量600kgとした場合の原価 (円/kg)	販売単価 (円/kg)	差益 (円/kg)	10aあたり所得 (×600円)	経営規模別所得 (円)		
					5haの場合	10haの場合	20haの場合
H28長野県 平均値 172,843	288	250	-38	-22,843	-1,142,150	-2,284,300	-4,568,600
160,000	267	250	-17	-10,000	-500,000	-1,000,000	-2,000,000
150,000	250	250	0	0	0	0	0
140,000	233	250	17	10,000	500,000	1,000,000	2,000,000
130,000	217	250	33	20,000	1,000,000	2,000,000	4,000,000
120,000	200	250	50	30,000	1,500,000	3,000,000	6,000,000
110,000	183	250	67	40,000	2,000,000	4,000,000	8,000,000
100,000	167	250	83	50,000	2,500,000	5,000,000	10,000,000

例) 単収 600kg、販売単価 250 円/kg の場合、全算入生産費を 120,000 円/10a（原価 200 円/kg）まで低減すると、所得は 30,000 円/10a となる。また、経営規模が大きくなるほど所得も大きくなる。